

薬局ヒヤリ・ハット プレアボイド事例報告

アイ薬局 実習生 岡 優希

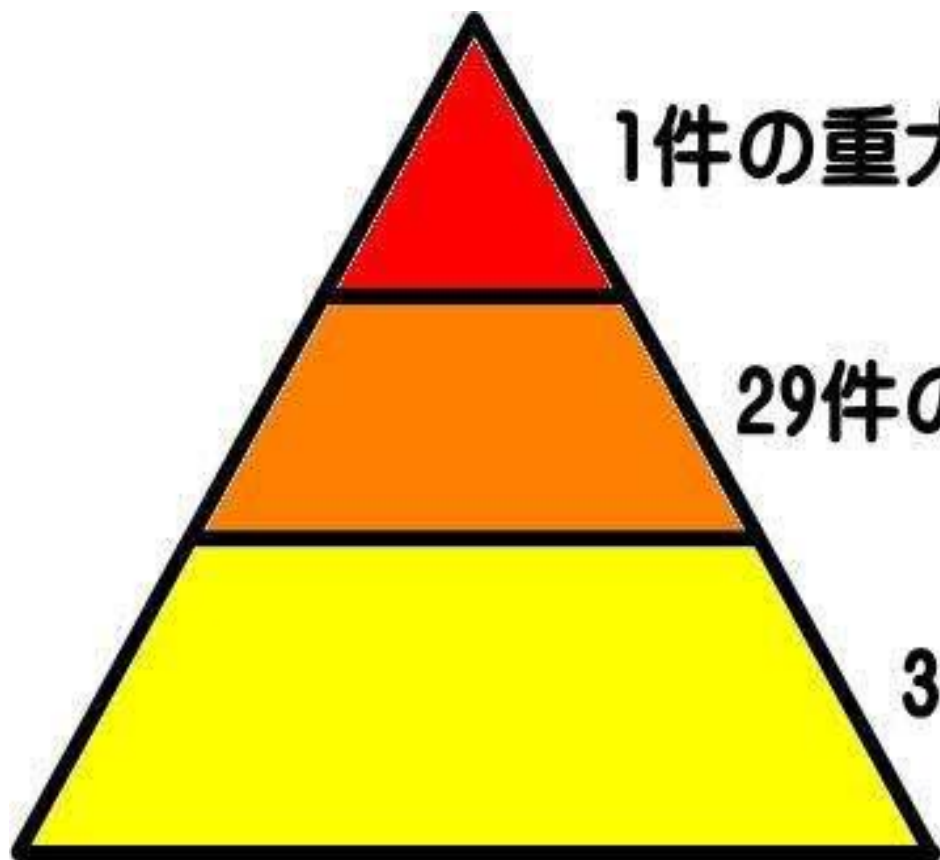
令和3年10月3日

▶ ヒヤリハット

大きな事故やケガには至らなかったものの、事故になっていた可能性のある、一歩手前の出来事。

▶ プレアボイド

薬剤師が薬物療法に関与し、薬学管理指導やケア等その専門性を実践することにより、副作用、相互作用、治療効果不十分などの患者様の不利益を回避したり、早期発見により大事に至らないようにすること。



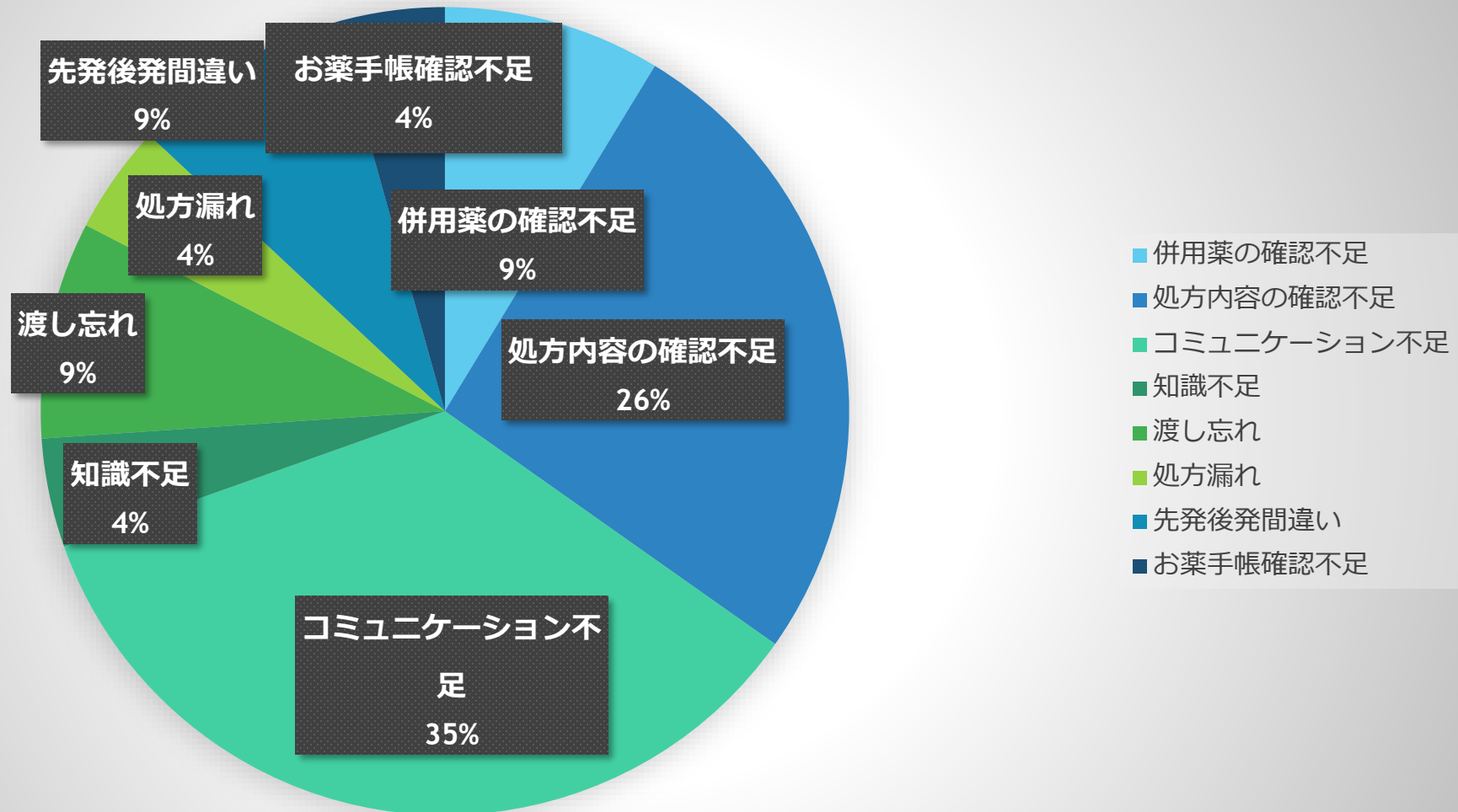
1件の重大な事故・災害

29件の軽微な事故・災害

300件のヒヤリ・ハット

ハインリッヒの法則

ヒヤリハット事例



ヒヤリハット事例収集における 共有すべき事例

【事例】

患者にアイラミド配合懸濁性点眼液が処方されていたが、誤ってアイファガン点眼液0.1%をピックアップし、交付者は間違いに気づかず薬剤を交付した。

患者が点眼する際に間違いに気づき薬局に連絡したため、すぐに患者宅に出向き交換を行った。

【背景・要因】

患者には以前からアイファガン点眼液0.1%が処方されていたが、前回からアイラミド配合懸濁性点眼液に変更になっており、薬剤の名称が似ているのと容器の形状が同じであることから思い込みが生じた。

販売名	アイラミド配合懸濁性点眼液	アイファガン点眼液0.1%
有効成分	1 mL中 ブリモニジン酒石酸塩 1 mg ブリンゾラミド 10 mg	1 mL中 ブリモニジン酒石酸 1 mg
効果 効能	緑内障、高眼圧症	緑内障、高眼圧症
画像		

【改善策】

- ▶ 配置場所を離し、注意喚起のため印をつける。
- ▶ 調剤及び鑑査する際は、容器に記載された薬剤名を最後まで読み上げる。

プレアボイド報告事例①

【事例】

A薬局にて60代の患者に継続してロキソプロフェン錠60mg 1回1錠1日2回が処方・交付されていた。患者は自宅近くのB薬局でロキソニンSを頻りに購入。購入頻度が高いことからB薬局の薬剤師が患者にお薬手帳の提示を求めたところ、ロキソプロフェン錠60mgを服用していることを把握したため患者の承諾を得て、A薬局に情報提供を行った。

その後、疑義照会が行われた結果、ロキソプロフェン錠60mg 1回1錠1日3回へ増量となった。患者には投与量の変更と共に同一成分が含まれる一般用医薬品のロキソニンSは服用しないよう伝え、B薬局へと投与量が変わったことを報告した。

【背景・要因】

患者がロキソニンSを服用していることを医師に伝えていなかった。

当薬局は患者の介助者が薬剤を取りに来ていたため、一般用医薬品に関する聴き取りが不十分であった。

【改善策】

患者本人への確認や薬剤交付後のフォローアップを行い、患者情報の収集を行う。

プレアボイド報告事例②

【事例】

40代男性、平素から当該薬局のみ利用の患者。

ルパフィン錠10mg,2錠継続服用中であつたが、他院よりデザレックス錠5mgが処方された。

【背景・要因】

医療機関側の併用薬の確認不足があった。

【改善策】

普段受診していない医療機関へ行く際は
特にお薬手帳を持参し、医師に見せるよ
うに指導する。

プレアボイド報告事例③

【事例】

80代男性、平素から当該薬局のみ利用の患者。

腎機能が低下している。

ザイザル錠が1日10mg 継続投与されていたが
患者が効果を感じられていなかったため、担当医師に
トレーシングレポートを用いて情報提供を行った。

その結果、ザイザル錠5mgからルパフィン錠10mg
へと変更になった。

腎機能とザイザル錠の投与量

- ・ クレアチンクリアランス推算式 (Cockcroft-Gaultの式)

男性： $(140 - \text{年齢}) \times \text{体重} / (72 \times \text{血清クレアチニン値})$

女性： $0.85 \times (140 - \text{年齢}) \times \text{体重} / (72 \times \text{血清クレアチニン値})$

- ・ 成人患者の腎機能に対応する用法・用量の目安（外国人データ）

	クレアチンクリアランス (mL/min)			
	≥80	50~79	30~49	10~29
推奨用量	5mgを1日に1回	2.5mgを1日に1回	2.5mgを2日に1回	2.5mgを週に2回 (3~4日に1回)

【背景・要因】

医師が腎機能により減量規定のある薬剤の投与量を認識していなかったため。

【改善策】

本剤のような腎機能により投与量を減量する必要のある薬については、患者に血液検査値を確認させてもらい減量や薬剤の変更を医師に提案している。

ご清聴ありがとうございました。

参考文献：PMDA 医薬品医療機器総合機構

http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/contents/sharing_case/index.html